

令和4年 第8回文教厚生常任委員会会議録

令和4年7月21日 議員控室

○事 件

協議事項

(1) 子育てに関するアンケートについて

○出席委員（8名）

委員長 赤 井 睦 美 君
大久保 建 一 君
黒 島 竹 満 君
関 口 正 博 君

副委員長 佐 藤 智 子 君
倉 地 清 子 君
齋 藤 實 君

○欠席委員（1名）

能登谷 正 人 君

○出席委員外議員（1名）

議長 千 葉 隆 君

○出席事務局職員

事務局長 三 澤 聡 君

庶務係長 菊 地 歩 夢 君

[開会 午前10時00分]

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（赤井睦美君） 皆さんおはようございます。昨日はお疲れ様でした。そして今日もよろしくをお願いします。

◎ 協議事項

○委員長（赤井睦美君） 今日は子育てに関するアンケートについてのお話し合いです。アンケートを皆さんからいただいて、その結果を町広報にはありがとうございましたということで文厚の欄にちょっぴりだけ載せたんですけども、ある程度、広報に印刷して挟んでこんな結果が出ましたというのを報告したいと思うんですね。ホームページにも載せませんが。それでこれすべてを印刷するわけにはいかないの、どこら辺まで印刷して広報に挟むべきかということと、もう一個は、今、町が元々、小学校入学卒業に10万ずつとか誕生で10万ずつって手当を出すのを待っていて、それでアンケート調査したので、今後このアンケート調査をもとに町に対して文厚としてはそういうふうを考えていますって提言してもらいたいと思います。それをどういうふうにしていくかの意見を話し合いたいと思います。

まず、アンケート結果をどこまで町民の皆さんに報告するかという部分ですけども、グラフに関してはそのまま載せてもいいと思いますが、意見ですね。結構総合病院の小児科があまり良くないって書いてる意見もあるので、そういうところは割とこれ誰のことかしらって個人的なことが分かるような意見は載せないほうがいいのではないかと思います、順番に見ていきたいと思います。

まず問1、外出の際に今までに困ったことは何ですかということと、問2、問3のグラフは載せてもいいですかね。これどうでしょう。問1から子育て中、子育て終わった人というのと2種類あるので、問13までグラフを載せるなら13まで子育て中のがあって、子育て終了した人のはグラフの間6まであるんですけども、載せなくてもいいんじゃないというのがもしありましたら、教えてほしいと思います。

通学路が危ないというのは結構あちこちに意見としても出てるので、問1は出さなければなど。通学路になっていても歩道がなくてトラックとすれ違うと危険を感じるってそこは載せたほうがいいのかと思いますね。フリーをお願いします。自由に。

○委員（関口正博君） このグラフを全部載せるってこと。

○委員長（赤井睦美君） そっちは子育てが終わった人のグラフで、子育て中の人のグラフは。前に配ったんですけどもありますか。

○委員（大久保健一君） 前に配ったやつ持ってきてなかった。ごめんなさい。

○委員長（赤井睦美君） みんなないですか。

○委員（関口正博君） どの程度のスペース。

○委員長（赤井睦美君） 自分たちで印刷するからこういう紙。でかくしなくてももうちょっと小さくしてもできるんですけども、ただせっかくお金かけて印刷しても読んでもらえなかったら勿体ないので。

答えてくれた方のお子さんの年齢というのは1番目にあるんですね。だけどこれは載せなくてもいいかなって私は思います。

○委員（大久保健一君） こういうときにタブレットあったらいいんだけどな。

○委員長（赤井睦美君） 面白いのが、子育てや子どもの教育について気軽に相談できる人はいますか、いるで218 すごく多いんですけども、逆に気軽に相談できる場所がありますかというところでないが多いんですね。これは人はいるけれども機関としてはないと、そういう捉え方もありますよね。

○委員（佐藤智子君） 公のものはないということですね。

○委員長（赤井睦美君） そうですね、きっと。だから保健師さんの対応が悪いとかも書いてたから、そういうことに繋がるのかな。

○委員（関口正博君） 一通り目は通しましたが、我々の育ってきたときとやっぱり問題が随分変わってきているというのが。我々の時代では考えられなかったことにちゃんと目を向けながら。向けないとならないのはというのは大変なことだと思いましたけれども。

○委員長（赤井睦美君） 一番違いを感じるのは、昔は地域で子育て、隣近所の人が怒ったりなんだりしてたけれども、今八雲なんか犬の散歩しておはようとか声掛けられたら不審者が出たとか。そんなことがあるから知らない人が声をかけるとちょっとまずいかなって。

○委員（関口正博君） 給食も無償化になったっていつてるけれども、無償化は無償化で内容が悪いとかって。

○委員（佐藤智子君） 量が少なくてお腹減らしてるって。

○委員（関口正博君） 給食センターもいろいろアレルギーとかに気を使いながらいろんな取り組みをしてるんだらうけれども。

○委員長（赤井睦美君） 中学生にインタビューしたときに、美味しくないけどただだから文句言っちゃいけないと思ってるとか。

○委員（関口正博君） ただな故のだからいろんなそういうのが出てくるんだなと。あと持って帰ったらだめだって。

○委員長（赤井睦美君） もちろんもちろん0-157になるっていうふうに言われてて。

○委員（佐藤智子君） そうなってから年数が長い。

○委員（関口正博君） パンですら駄目なんですよ。牛乳はその場で廃棄。いいのそれで。

○委員（佐藤智子君） 前だったら休んだ子に持ってってあげたり。

○委員（倉地清子君） この前コロナで牛乳がすごく廃棄処分することがあったから子ども達に配布したじゃないですか。あぁいうふうに家庭で使って下さいって。子どもの何で牛乳をやるかと思ったら牛乳量が必要だからって。その相当量のを家庭に持って帰ってもらって家でやれないのかなって。

○委員長（赤井睦美君） 私も前にうちの息子が牛乳飲めなくてアレルギーで。もったいないから持たせて帰ってって学校に頼んだら、そうするとみんなが持って帰るって言ってそ

の日ちゃんと家で出す子もいるけれども何日も鞆に入って腐ったものを飲んでお腹壊したら学校のせいになるからって。

○委員（関口正博君） その日その日って大変なんだろうけれども、たとえばどこかに運んで必要な方にお配りするとかそんなことはできないの。どの程度の量が廃棄されているのか分からないけれども。

○委員長（赤井睦美君） 一回給食みんなでどれくらい捨てられててどうなってるのかって。

○委員（佐藤智子君） 試食一回だけじゃ駄目だって。議員が食べるって言ったら美味しいもの出すんじゃない。

○委員（佐藤智子君） 残食の多いメニューを頼む。

○委員（関口正博君） その廃棄の実態って出せるの。

○委員長（赤井睦美君） 前に安藤さんが一般質問で聞いたら1日100キロ。

○議長（千葉 隆君） 残食調査はしてるんだわ。メニューでなんぼくらい余ってるって。それで残食した、なぜ気に入ったとかもアンケート出したりしてるから、そして駄目な残食の多いのは外したり、あるいは原因を配慮して違う工夫をして出したりしてやってることはやってるんだけど。

○委員長（赤井睦美君） シチューが美味しくないとか、カレーが美味しくないとか。どうしたら美味しくないのができるのか。

○委員（倉地清子君） みんなお家でどういう食事してるのか。

○委員（関口正博君） 昔は美味しくないカレーだったけど、今は何食っても美味しいよ。

○議長（千葉 隆君） やっぱりコンビニの味になれてるんだわ。

○委員（大久保健一君） コンビニの味が標準だと思われたら大変なことになるな。

○委員長（赤井睦美君） ということで、ではお手元に来ましたので速報版と、まず答えてくださった方のお子さんの年齢が1枚目に。そして2問目に外出の際に困ったこと、今まで困ったことは何ですかということまで3つまで選んでもらっていて、ダントツで通学路が危険。それと子どもの遊び場について日頃感じることは、あと雨の日に遊べる場所がないのと、遊具が古くて危険ということが非常に多かったです。あと、1年間病気や怪我で幼稚園などを休んだときに誰が看ましたかってお母さんが一番多いです。

それで最初にはじめてアンケート調査したときに病児病後児保育があったら利用しますかっていう欄で、今回は利用できたらいいという欄で半分超えたんですね。前は1割くらいしかなくて、あとは利用したいと思わないって大半だったんだけど、やっぱり働く人が増えたから増えたんだなって実感しています。

その次のページで、日頃お子さんたちを預かってもらえる人はいますかというのは、祖父母に預かるという方と、預かってもらえる人がいないのが79、それで日頃子育てに悩んでいること、不安なことは何ですかっていうので一番多いのが出産・育児・教育にお金がかかりすぎ。それから8番は子どもにとって安全な遊び場がない。ここでも遊び場のことが出てきて、それから21番は特にない。あと子育て子どもの教育について気軽に相談できる人がいますかって、いるが多いんですけど、次のページにいくと利用できる場所はないのが多いのが不思議。それで気軽に相談できる人は誰ですかで、嬉しいことに配偶者、そして親、そして知人・友人ですね。それで気軽に相談できる場所がないが多くて、気軽に相談でき

る場所は学校が、教育に関してはそうだと思いますが学校、それからシルバープラザ、それから保育園というかたちですね。あと働くことと両立するためにどうしたらいいですかに、一番はやっぱり配偶者が家事育児に協力するというのが多いんですけども、子育てしてる5番で、子育てしている者に配慮した勤務時間制度があつて、それを実際に利用できる職場環境って私これは一番大事だと思ってるんですけども、どんなに子育て支援でお金だそうが何しようが職場に理解がないとかなり大変なので、ここは本当にそうだなって思っています。

それで八雲町は子育てしやすい町だと思いますかって、どちらかというと思うという答えが多いのでそこは嬉しいなと思います。

それで子育てしやすいところはどこですかというところで医療費・給食費・保育料が提言されてて助成が充実しているのが一番です。その次が産婦人科、小児科があるところ。そして学童保育が充実していると。

それで逆に子育てがしにくいところはどこですかという欄で、歩道のない通学路、ここが一番ですね。それで次がその他、これは体調が悪いときに子どもを預ける施設がないと。あなたは子育て中にどのような支援・対策が有効だと思いますかということで、雨天でも伸び伸びと遊べて親子で安心して過ごせる屋内の施設の整備が必要だ。あと学童保育者が働きながら子どもを預けることができる施設の充実、そして小中学生の活動の拠点、第3の場所の確保と充実が挙げられています。

それで最後にどのようなことでも結構ですので、子育てに関するご意見ご要望をお願いしますということたくさん意見が出ています。これをたとえば一番の、知的好奇心を満たせるような博物館や科学館の施設がほしいですって、本当にあるといいなと思うけれども、それは八雲町には望めないだろうという気持ちもあったりして。それでどこまで意見を載せれるかということと、グラフも全て載せたほうがいいのかということも皆さんの意見を出していただければ助かります。グラフに関しては全部そんなに大きくなくても載せたほうがいいですかね。

○議会事務局庶務係長（菊地歩夢君） 先ほど皆さんに配ったのは、前回の文厚で配った子育て中の皆さんに宛てたアンケートですけれども、今回皆さんにお配りした資料で、表とかグラフのない子育てに関するアンケート（保護者用）のその他回答に係る一覧を今回配ったんですけども、実は先ほど配ったものですが、その中でその他の意見はありませんでしたという表記になっていますが、再確認したところうまく抽出ができていなくて、実はその他の意見がありまして、申し訳なかったんですけども、これに関しては今回別冊でその他の意見をまとめたものを今回皆さんにお配りしています。今配った速報版、それぞれその他意見なしとなっていますが、正しくは意見がありましたと。ありましたのでそれに係る意見一覧を今回配りましたという感じになっていますので、お願いします。

○委員長（赤井睦美君） その他の意見もやっぱり歩道は心配という声はたくさんあります。

○委員（佐藤智子君） フリーでいいですか。事務局に関わるんですけども、このグラフってA4に1枚に4つ分ってきついですよね。

○議会事務局庶務係長（菊地歩夢君） 今回はグラフの横に1番なに、2番なにって説明を打てるんですけども、まず表をいっぱい入れると見づらくなるかと思って今回2つにな

らべて、横に文字を入れるというふうに作ったんですけれども、やりようによっては良い方法があるかもしれないですけども。

○委員（佐藤智子君） これは大変見やすいので、この状態だと思うんですけども、枚数とかそういうの気にしないでグラフの数を減らして出すのか、その辺がどうしたらいいかなって。

○委員長（赤井睦美君） ホームページは全部載せても大丈夫ですよ。ただ印刷のほうが。

○委員（佐藤智子君） 円グラフはね、まとめられそうだけれども。

○委員（倉地清子君） これって保護者向けにQRコードでやりましたよね。これはやっぱり全町民に知らせるべきことになるんですか。

○委員長（赤井睦美君） 全町町民からもらってるので。

○委員（倉地清子君） 答えてくれた人に行けばいいかなと思って。そうするとスマホで済むなら全部。

○委員長（赤井睦美君） QRコードで答えてくれた人にQRコードで返す。

おおむね40代以上の方のアンケートなのにQRコードやり方わからないのに何これって言われてしまって。

○委員（倉地清子君） すみません、なんかやるの忘れてましたっていう人もいたので。

○委員長（赤井睦美君） そうだよなと思ったりして。どうでしょう。ペーパーレスを考えたならQRコードで出してもいいと思います。

○委員（佐藤智子君） 八雲町の子どもの親がどんなことを考えてるのかなって全町的に分かるのも大事な事だと思うので。

○委員（大久保建一君） この結果をアンケート出してくれた人達がそんなにみんな知りたいんだろうか。

○委員長（赤井睦美君） 知りたいとか知りたくないとかではなくて、やっぱり意見をいただいたらきちんと返さないと駄目かなって思っています。

○委員（大久保建一君） でもアンケート出してくれた人達が望んでいるのはこのアンケートをもとに町の政治が改善されることを望んでいるのであって、この結果を知りたいわけではないのかなって。だからもっと抜粋した感じで出してもいいんじゃないかなって。みんなの興味を引くような結果が出た物だけを抜粋して出して、ただ皆さんの声をいかした政治にいかしていくことが重要だと思うからこれを全部知らしめる必要はそうそうないんじゃないかなって気がします。だからこれはみんなで選んでもうちょっと抜粋して、こんな結果が出たということを記事にして出してもいいんじゃないかって気がします。個人的感想。

○委員（佐藤智子君） その相談ですよ。

○委員長（赤井睦美君） それでどこを載せるかって。

○委員（関口正博君） 町ホームページの文厚の欄には全部載せるの。

○委員長（赤井睦美君） ホームページには載せれる。

○委員（大久保建一君） そしたらホームページには全部載せて紙ベースでは抜粋して。

○委員長（赤井睦美君） だから抜粋するところをどうするか。

○委員（大久保建一君） それと4番のさ、円グラフが休んだとき、病児病後児保育、これがいづれ増えたっていうんだから前回の調査と比較して載せればいいんじゃないかって。

- 委員長（赤井睦美君） 何年度はこうだったね。
- 委員（関口正博君） 病後児保育を作る上でのハードルってなんでしたっけ。資格者が必要なんでしたっけ。
- 委員長（赤井睦美君） お医者さんと看護師さん。
- 委員（佐藤智子君） あと場所と。
- 委員長（赤井睦美君） 前に総合病院の看護師さんのお子さんが集団インフルエンザになってみんな休むと総合病院看護師さんいなくなるから、急遽空いている医師住宅にその子たちを連れて病児保育ではないけれども、お医者さんをちょっと一回来て、お休みの看護師さんがついて診てたって。そのことを聞いたら、ゆくゆくは、いつかは言ってないけれども、病院内の保育園がありますよね。そこを病児病後児にできたらいいかなって思っていますって意見もあったんです。当時。それは今後どうなるか分からないですけども。
- 委員（佐藤智子君） 1枚目の子どもの年齢のグラフはいらないとして外出の際に困ること、今まで困ったことを1から7までではなくて、多いのを載せるとかそういうイメージですか。どういうふうにしたらいいですかね。
- 委員長（赤井睦美君） トップ3を載せる。
- 委員（佐藤智子君） 特にないのはいらないけれども。
- 委員長（赤井睦美君） この特にないの中の意見がこれなの。
- 議会事務局庶務係長（菊地步夢君） その他ですね。
- 委員長（赤井睦美君） その他の意見がこれ。その他もやっぱり歩道橋設置してほしいとか、路駐の車が危ないとか、国道に雪を投げる人が増えてるとか。
- 委員（佐藤智子君） 1番は1と3が多いから1と3だけでいいとか。
- 委員長（赤井睦美君） どうでしょうか。トップ3を載せるということでもいいですか。それとも。
- 委員（倉地清子君） でもこれ●●とかトイレのオムツとかどっかにも出てるんですよ。
- 委員長（赤井睦美君） そうそう。
- 委員（大久保建一君） 全問トップ3だけ抽出して載せるならグラフなくてもいいよね。表でもいいよね。
- 委員長（赤井睦美君） トップ3だけ載せるならこの文書の上に数字を載せたらいいんじゃない。
- 議会事務局庶務係長（菊地步夢君） 横に数字をなら作れるかもしれない。
- 委員（関口正博君） スペースが許すなら全部やっちゃえば。
- 委員長（赤井睦美君） 載せなくてもいいのはないですか。
- 委員（関口正博君） だってアンケート出して出てきたら総数だってわかるだろうし。
- 委員（佐藤智子君） いらぬ質問がないかとかって。
- 委員長（赤井睦美君） そうそう。抜粋だから。是非皆さんこれは載せてほしいと。
- 委員（佐藤智子君） 問1は載せてほしい。2は似たようなのなかったでしたっけ。3と4、4だけでいいと思います。
- 委員長（赤井睦美君） もっと詳しいことはホームページにつて。
- 委員（佐藤智子君） 問1、問2、問3。

- 委員（関口正博君） 問3はいらない。問4は。
- 委員長（赤井睦美君） 問4は前回と比較して載せる。
- 委員（関口正博君） 問5はいらないけど問6はいるよね。
- 委員長（赤井睦美君） 問7と問8もなくていい。
- 委員（佐藤智子君） 問7はなくても。
- 委員長（赤井睦美君） 問8は。
- 委員（佐藤智子君） 問8の1はいらない。問9は。
- 委員（関口正博君） 問9は微妙だけど、問10はいるね。
- 委員長（赤井睦美君） 11と12は。
- 委員（関口正博君） あってもいい気がする。13は。
- 委員長（赤井睦美君） あと主な意見ですけれども、これは載せないと。
- 委員（佐藤智子君） 主な意見って文書の。なんかピックアップできるものはないの。100人近くいるわけでしょ。
- 委員長（赤井睦美君） やっぱり中学生、高校生の遊び場がなさすぎるって。
- 委員（関口正博君） それは八雲で育った以上、仕方ないよだって。
- 委員長（赤井睦美君） 都会に行きなさいって。
- 委員（関口正博君） そういうふうになりますよね。
- 委員（佐藤智子君） ゲームしてるしかない。6番の公園で使用禁止の何かってありましたか。
- 委員長（赤井睦美君） 結構、総合病院のは。
- 委員（佐藤智子君） （聞き取り不能）
- 委員（関口正博君） だって小児科だってこの辺にあるのが少ない中でのことだから小児科があるということ自体のメリット。確かに先生がちょっといろいろ問題あるのは十分承知するんだけど、逆に八雲には小児科があるという。そんな表現の仕方はできないのになって。
- 委員（佐藤智子君） ●●先生みたいに小児科を親が育てるみたいなの。
- 委員（関口正博君） ここがあるないはものすごく大きい気がするんですけども。ほかの町と比べて。
- 委員（佐藤智子君） 移住してきたりするのを選ぶ基準になるもんね。
- 委員（関口正博君） もしいろんなことが悪くなるならまず最初にそこが無くなる可能性があるということだし、小児科や産婦人科があるメリットは逆に。いろんな噂は聞くけどね。
- 委員（倉地清子君） 函館行っちゃいますよね。みんな。
- 委員（関口正博君） 本当に口悪いからね。
- 委員長（赤井睦美君） 先生が。
- 委員（関口正博君） ただ、よくよくいろいろ付き合ってみるとそうでもないなって。だから感覚がちょっとずれてるんだよね。だから個人差は当然あるだろうし、受け取り方って。子ども持っている親はいろいろ不安だろうから声のかけ方ってすごく大事なものはよく分かるんだけど、その辺はちょっと口悪いよね。

○委員長（赤井睦美君） こういう意見はホームページに載せるけれども、ペーパーには載せないってことでいいですね。

○委員（佐藤智子君） そのほうが。

○委員長（赤井睦美君） それで詳しいご意見を知りたい方はホームページでと。

○委員（関口正博君） そのほうがいいんじゃないですか。

○委員長（赤井睦美君） じゃあグラフのみ。それでこっちは今のは子育て中の方たちのアンケートで、もう一個の40代以上の方というのもあって、それにもグラフが少ないんですけども、これも載せて。

○委員（佐藤智子君） 産婦人科、小児科があるというのは子育てを終えた人の意見なんだね。

○委員長（赤井睦美君） 子育て中の関連意見を見たら子育てしてない人の意見もあるからなんとも言えない。それから議員に対しての意見も出てたんですよ。

○委員（倉地清子君） ありましたっけ。

○議会事務局庶務係長（菊地歩夢君） 子育て支援関連の問6の後ろの。

○委員（佐藤智子君） 胸張って歩かないでくださいって。でも胸張って歩いたほうがいいんじゃないの。下向いて歩くより。

○委員長（赤井睦美君） ね。

（何か言う声あり）

○委員長（赤井睦美君） 要するに声を聞いてないっていうことを言いたいんですよ。

○委員（佐藤智子君） 胸張って歩ける立場なのかいあなたたちってことか。

○委員（大久保健一君） どこに書いてるの。

○委員（佐藤智子君） 40代以上の方の3枚目。

○委員（関口正博君） 2番はそれこそネットとかでいろんな町の、八雲がどうのこうのじゃなくて。普通の人から出てくる言葉じゃない。ネットからすべて情報収集してって感じだね。

○委員長（赤井睦美君） 子育てアンケートで是非議会に言いたかった声なんですかね。有言実行しなさいって。

○委員（佐藤智子君） 3人とも町外で住んでるってその理由がこれ。

○委員（大久保健一君） 低賃金、親方日の丸ってどういう意味。

○委員（関口正博君） 知らない。

○委員（大久保健一君） 子育て支援が充実してないって書いてるけれども。

○委員（関口正博君） これ終わった方々ですよ。

○委員長（赤井睦美君） そう。だから子どもが巣立って地方に出ていっちゃったと。出て言った理由がここに上げている1、2、3、4なんですよ。

○委員（大久保健一君） この人は今の子育て支援を知ってて書いてるのかな。

○委員（関口正博君） 知らないんじゃない。

○委員長（赤井睦美君） まあ若い人達のね、保育料無料が助かりますみたいなことも書いてるから少しは。

○委員（関口正博君） 北海道で子育て支援の最先端地ってどこなんですか。

- 委員（大久保建一君） 何をもって最先端なの。
- 委員（関口正博君） なにもかも。
- 委員（大久保建一君） 泊川とかあの辺じゃないの。
- 委員（佐藤智子君） 何だっけ小学5年生にも。
- 委員（大久保建一君） だって過疎の町のほうが充実していいんじゃないの。お金かからないもん。子ども少なくて。
- 委員長（赤井睦美君） 町民アンケートもグラフだけでいいですか。
- 委員（関口正博君） 詳しいこともこれもホームページでって感じで。
- 委員長（赤井睦美君） それで今度八雲町に対しての提言ですけれども、これを今度ちゃんと分析して調査して、だから委員会としてはこういう提案をしたいですってやりたいんですけれども、こういう1回や2回ではきっとできないと思うので、小委員会を作ってちょっと原案を考え、その原案をもとに皆さんから意見をもらってそれでよければ追加や削除をしてもらってというふうにしたいなと思うんですけれども。それでいつまでも待たせているわけにはいかないの、なるべく早急に原案を作りたいと思いますが、いかがですか。
- それで、小委員会は立候補していただいて、その方たちをお願いしたいと思います。ぜひ。
- 委員（大久保建一君） 提言する前にこの声を担当部署にそのまま見せることは必要じゃないの。
- 委員長（赤井睦美君） それは見せていますよね。
- 委員（大久保建一君） だから項目ごとに担当課とか病院だとかの声が実際に子育て支援のアンケートで上がりましたって要望は別に出すとして、それはそれで実際に見せたほうがいいんじゃないの。うちらだけでアンケートの結果を考えるより。
- 委員長（赤井睦美君） 小委員会でやってもいいですか。立候補する人はいますか。
- 委員（佐藤智子君） 町長も見る機会はあるの。
- 委員長（赤井睦美君） どっちでも。担当課には。
- 委員（佐藤智子君） 担当課に見せたら町長に行くか。
- （何か言う声あり）
- 委員長（赤井睦美君） そしたら小委員会でやるということで立候補してくれる人はいますか。
- 委員（関口正博君） いいですよ。家庭壊した人間だけどいいかな。
- 委員（大久保建一君） 相応しくない。
- 委員（佐藤智子君） はい。
- 委員（倉地清子君） はい。
- 委員長（赤井睦美君） じゃあ、4人で。今度の文厚は来月ですよ。それまでには皆さんに。
- 議会事務局庶務係長（菊地歩夢君） 次の文厚で原案を出すと。
- 委員長（赤井睦美君） 小委員会でそれまでに話し合っって次の8月の文厚で出すのは遅いんですか。
- 議会事務局庶務係長（菊地歩夢君） 十分だと思います。
- 委員長（赤井睦美君） じゃあ、来月は。

- 議会事務局庶務係長（菊地歩夢君） 8月18日木曜日です。
- 委員長（赤井睦美君） このときまでに小委員会で原案を作って皆さんに検討していただくということで。
- 委員（大久保健一君） ちなみに何時。
- 議会事務局庶務係長（菊地歩夢君） 18日木曜日、同じく10時からで。
- 委員長（赤井睦美君） 9日臨時会で。
あとアンケートについて皆さんからご提案はありませんか。
- 委員（大久保健一君） 委員長から町長に見せたらこれ。委員長、副委員長でこういう結果が出ましたって。担当部署にも伝えたいと思いますがつて。せっかくとったんだから。
- 委員長（赤井睦美君） あとはありませんか。なければその他で。
（「なし」という声あり）
- 委員長（赤井睦美君） 熊石の報告会終わったあとに、個人的にですけれども、発達障害の子たちに支援したいという思っているという人がいて、自分の孫さんも発達障害で、それで行政に何人くらいって聞いたら全然わからないって言われたって。そういう支援について委員会としてはなんか考えてるのって言われたんですけれども、障害児についても勉強したいなと思います。
（何か言う声あり）
- 委員（斎藤 實君） 無料化、そんなに嬉しくないんだな。給食。
- 委員長（赤井睦美君） なんか無料になったから量が減り味が落ちて勝手に思ってるんですけれども、でも関係ないですよ。
- 委員（斎藤 實君） 関係ないと思うけど。
- 委員（大久保健一君） 試食してみたら。
- 委員長（赤井睦美君） 試食会いつにしますか。その人気のないメニューで。
- 委員（斎藤 實君） 定例会のときにでも。
- 委員（大久保健一君） 定例会でもいいし次の委員会でもいいし。
- 委員（関口正博君） 廃棄のほうが嫌だけど。
- 委員長（赤井睦美君） 私も嫌ですよ。廃棄にもお金がかかるんですよ。
- 委員（大久保健一君） ただ牛乳持って帰ったらだめだとかって八雲だけではないんですよ。
- 委員長（赤井睦美君） 全国。
- 委員（大久保健一君） それは通達みたいな感じなんですよ。
- 委員長（赤井睦美君） そうです。O-157が出たときに、全国一斉に。それでも北海道って、そんなにそんなに気温も高くないし大丈夫じゃないって言ったけれども。
- 委員（関口正博君） 腐った牛乳飲んで、その親が給食センターに腐ったってしゃべるの。
- 委員長（赤井睦美君） そういうことがあったら困るってこと。パンを鞆に入れておいてカビ生えて、それをこんなカビ生えたパンって、そこまで責任が持てないから。
- 委員（倉地清子君） 絶対飲まない子はいるから。
- 委員（大久保健一君） 学校給食には牛乳を入れないとないって給食法が。
- 委員長（赤井睦美君） もったいないからそこも話をしたいし。

○委員（関口正博君） ほしい人もいるよね。

○委員長（赤井睦美君） いるいる。

（何か言う声あり）

○委員長（赤井睦美君） 8月18日の文厚で食べるというのはどうですか。

○議会事務局庶務係長（菊地歩夢君） 給食センターに聞いてみます。

（何か言う声あり）

○委員長（赤井睦美君） 中学生にインタビューしたときは、ほぼほぼ美味しくないって。

○委員（大久保建一君） だから子どもの舌が肥えすぎてて言ってるものなのか、本当にまずいのか分からないから。

○委員（関口正博君） それで好き嫌が多いよね。昔に比べたら段違いだよ。

○議長（千葉 隆君） 親が作れるものが限定されてきてるからそれ以外の味がわからなくなったり、みんな本当に作ってるのかって。家庭で。

○委員（関口正博君） コンビニ基準になっていますよね。

○議長（千葉 隆君） 毎日3食、365日のうち、お母さんが3食本当に子どもに何回食わせてるかって言ったら給食はあれだけでも。作ってるというのと皿に乗せているのとは違うからな。

○委員（斎藤 實君） 栄養士さんの減塩の関係もあるかもね。

○委員（佐藤智子君） そうだね。塩分取りすぎは身体に悪いって。

○委員（斎藤 實君） それだって最近小児科の先生も塩分取りすぎってあまり言わなくてもって。そういう考え方持ってる評論家もいるんだよな。

○議長（千葉 隆君） やっぱり給食も学校ごとに作ってたほうが評判いいんだわ。

○委員（佐藤智子君） 熊石の給食美味しくて評判だったしょ。

○議長（千葉 隆君） だってあの大きいのにスコップで混ぜてるんだよ。

○委員（大久保建一君） スコップで混ぜても美味しいのは美味しい。自衛隊のカレー美味しいし。

○委員長（赤井睦美君） そしたら一応試食をお願いして、もちろん支払いしますので、よろしくをお願いします。

○委員（斎藤 實君） だけどちょっと持ってくるより大量に持ってきたほうがいいから。

○委員長（赤井睦美君） みんないるとき。臨時会。

○議長（千葉 隆君） 多かったらゆるくないって。

○委員（斎藤 實君） 定例会でもいい。休みに入ってからだったらちょっと。

○委員長（赤井睦美君） そうですね。

（何か言う声あり）

○委員長（赤井睦美君） じゃあ9月の定例会で。

○議長（千葉 隆君） 俺たちもなんか持ってこないと。足りないから。

○委員（斎藤 實君） そうでもないべ。

○委員（大久保建一君） 中学生の分量だったら成長期に合わせてカロリー計算してっから結構なもんだと思うよ。

- 委員（関口正博君） パンのバリエーションって同じなのかな。揚げパンとか出てるの。ただのコッペパンなの。
- 委員（大久保健一君） 黒糖パンとか。
- 委員（倉地清子君） 黒糖パンは評判いい。
- 議長（千葉 隆君） 給食のほかに弁当持ってってたからな。
- 委員（斎藤 實君） 本当。
- 議長（千葉 隆君） 腹減る。
- 委員長（赤井睦美君） その他で何かありませんか。事務局からは。
- 議会事務局庶務係長（菊地歩夢君） 大丈夫です。
- 委員（大久保健一君） 文厚のほうにいずれ上がるだろうけれども、落部の議会報告会でちらっと出たのが、スポーツ少年団の衰退がすごいと。だから、もうちょっと予算的にもいろいろ将来の子どもの育成のためにはそういうのをちょっと力入れたほうがいいんじゃないかっていう意見が出ていました。
- 委員長（赤井睦美君） これ衰退するというのは指導者が。
- 委員（大久保健一君） 指導者がいないとか資金的にも厳しいとか、それぞれ一つの理由ということはないだろうけれども、そういう意見も出ていました。
- 委員（斎藤 實君） だいぶ前にもそういう意見あった。
- 委員（大久保健一君） だけど子ども自体が減ってるから少年団も運営が厳しくなっているのはしょうがない話というか、分母がすくないからやるやつも当然少なくなってるだろうし。
- 議長（千葉 隆君） 体協とかだったらお金というより、そもそもいないという話なんですよ。教える人が。お金やってどうのこうのっていう以前に、指導者がいない。指導者がいたらお金だとかそういう企業にお願いしたりしてなんとかなるかもしれないけれども、そもそも論だからどうしようもないなって感じ。そのスポーツによって違うけど。サッカーとかなら結構まだ指導とか熱心な人がいるけれども、あまりスポーツでもちょっとあれだなんて感じの人達。
- 委員（大久保健一君） また親もうるさいんだ。
- 議長（千葉 隆君） それで結局協会の役員やってるのもそのスポーツに若いときやってたのかって言ったらやってないとかっていうのが会長やってたり、実際に携わったことない人がやってたりする協会も少し出てきてるから、会長頼むから誰もいないからやってみたいな。経験していなくても監督やったとか支援してたとかそういう感じになっちゃってるから、その中から指導者というのはなかなか難しいと思う。だからこのスポーツの少年団なら限定されてくるっけ。バスケとサッカーと陸上とか。
- 委員（大久保健一君） バスケ、サッカー、バレー。
- 委員（倉地清子君） 今バレーなくなった。
- 委員（大久保健一君） 女子なくなったの。
- 委員（倉地清子君） 森と一緒に。
- 委員（大久保健一君） 剣道柔道あるんじゃないの。剣道、柔道、空手。

○議長（千葉 隆君） 剣道だって実質阿部さんの父さん亡くなったから。一人二人くらいでしょ。柔道だってそれくらいで、いるけど70代、80代でその人たちにもう一回頑張ってるって言っても、組手ができなくなってるから、小学生に投げられてしまう。

○委員（関口正博君） 最近全国とかのレベルで活躍する子ども達も少なくなってるけれども、ぽつらぽつら石堂ひなちゃん（聞き取り不能）100mで優勝してたし。あそこまででかくなったら。よくオリンピック強化選手でAランク、Bランク、Cランクってあって、そんな区分けも八雲町がして、例えば基準でそこに月にいくら遠征とかって相当大変というのは前から言われてるけれども、自治体によってはほんのちょっとの助成を出してる場所もあるみたいだけれども、ただ、なにもかも出すわけにはいかなくてある程度ここまでのレベルまで行ったらって基準を作るのは難しいのか。

○委員（大久保建一君） 昨日も中体連で旅費が全部出ないから補助してほしいって声が出て、本当かどうか知らないけれども、中体連は全部出てるはずなのに。それで議連からも出てるはずなんだ。なのに子どもの負担があるって。だから先生ちょろまかしてるんじゃないのって。

○委員（斎藤 實君） そうでもないはず。先生がごまかしてるんじゃないって、なんか理由があるみたいだよ。町が出す範囲の補助の範囲。

○委員（関口正博君） 今でも基準があるってこと。

○議長（千葉 隆君） でも実際に何年か前に八中であつたから。

○委員（大久保建一君） うちの息子のときにあつた。だから結構その担当の先生に任されてるところがあるから、子ども達に全額きちんと配布してる先生もいるし、なかには自分の交友費だとかに充ててる人もいるし、皆さんから餞別貰った分に対してお土産とかに充てて子どもから負担とってる人もいるだろうし、そこら辺が厳格な運用になっていないのも実際にあるっちゃあると思う。

○委員（関口正博君） それはどうしようもない。

○委員（大久保建一君） だけど本来であれば子どもの旅費は100パーセント学校行事だから出るはずなんだわ。

○議長（千葉 隆君） その部分はね出てるはず。ただ、その昨日も言ってたけれども、泊まるホテルその地域になくて遠くになってその間のタクシー代とか。だから、そこら辺はさ、どうしようもない。違うべって問題だ。

○委員（関口正博君） そこは違うけれども。

○委員（斎藤 實君） 学校行事と部活であちこち遠征に行く部分も一つ問題あるんですよ。そこはお金でないから、父兄のカンパもお願いしないとない。

○委員（大久保建一君） でもスポーツはお金がかかりますからね。

○議長（千葉 隆君） でもそうやって大会のあるかもしれないけれども、本気でお金かけてる人達は本当に野球やってでもリトルリーグに入れたら洞爺と函館に毎日通わしてるんだから。それで途中になったらある程度母さんと選手と子どもとそっちに札幌に移るんだから。それでお父さんが居残り単身赴任みたいな感じで。

○委員（斎藤 實君） そういうのは結構あるみたいだよ。

○議長（千葉 隆君） だからそういうのと比べたらどっちに金かけてるのよって言ったら何とも言えないから。難しいんだよな。いろんな部分。そっちのほうが絶対に金かけてるから。

○委員（関口正博君） 区分けは難しいよね。

○議長（千葉 隆君） なかなかそれがプロに行くまでは結びつくかどうか分からないけれども、やっぱり可能性があったらやってあげたいというのが親だからさ。無理だべなって思ってもなんとなくやりたいって頑張れば。

○委員（関口正博君） でもお金の理由で断念する人も。

○議長（千葉 隆君） それはいる。

○委員（倉地清子君） これから先部活も地域でという。先生じゃなくなる。余計に指導ができないから、段々お金がないと部活も好きなものができるなくなる。

○委員（大久保健一君） それでなくても少子化で団体競技できなくなる。

○議長（千葉 隆君） うん。野球だって全然、八高で出れないもんね。

○委員（斎藤 實君） 今知野さんは元気なの。

○委員（関口正博君） 最近スポーツクラブ自体解散したんだよね。

○議長（千葉 隆君） 違う。浅井さんが解散して知野さんが残ってる。

○委員（大久保健一君） でも落部って陸上で定期的にすごい人いるよね。投擲だとかさ。

○委員（関口正博君） 子どもが少なくなってくるから出やすくなってる側面もあるんじゃないかな。そんなことはないのかな。全国的にさ。

○委員（大久保健一君） でもトップレベルの記録は伸びてるんだよ。まあそういうことがありましたってこと。

○委員長（赤井睦美君） これは調べないと駄目ですね。

○委員（関口正博君） あとさっきのアンケートの話に戻るけれども、いじめの実態、目についたところでは●●はどこまでがメディア報道もどこまでがどうなのかっていうものもあるけれども、これも我々の時代ではちょっと考えられないところまで行ってしまう。今 SNS あるからね。実際にそうなったときに教育委員会だけがやっぱり責められるの。そこに頼るしかないとかね。実際に今の八雲の現状ってどうなの。落部では一部聞くんだわ。それで人数が小さくなったらなるほど、良いようで良くないところもあって、逃げ道がない。いじめを受けている側も7人とか8人しかいなかったら確かにそうだよな。前は落部でも30人、40人いたから。いじめられてもほかに逃げ道あったけれども、今の少人数の学級は逆に逃げ道がない。だから学校に行けなくなったという子がいるらしくて、学校教育の場、いじめもひっくるめて子どもにとって人数がいっぱいいるほうがいいのか、これは八雲の話なんだろうけれども。いじめのアンケートは。これからの学校の統合の在り方というのかな。そういうのもちゃんと俺たちが育ってきた時代とは全く違ういろんな問題が出てきている気がするし、俺は落部のPTAの連中にはそろそろ統合を考えたほうがいいんじゃないかって。落部ってなくなる予定ではないんだけど、子どもの選択肢をもっと増やしてあげるほうがいいんじゃないのっていうようなことは言ったんだけど。ただ教育は考え方が人それぞれ違うし俺も偏ってるしなんか自信なくて。だからちょっと悲惨だなってこのアンケート結果見てもそうだけれども。それで先生に逃げられたらどうしようもないも

んね。俺たちは自分で解決できたけれども、俺だっていじめられたことあって自分で解決してきたけれども。だって今は家庭巻き込んでさ。

○議長（千葉 隆君） おおむね先生の資質もあるけれども、やっぱりそもそもの八雲の先生なのに函館から通ってくるんだから。そしたら早く帰らないとないのさ。

○委員（関口正博君） 当然、先生の質もあり方も変わってきてる。

○議長（千葉 隆君） だからそういうふうになっちゃったらいい先生も限られた時間で全部済ませようってなるから、まずは赴任地に住んでもらうことからは始めるようなものを何とかやっていかないと、そもそも論からなってくるんだよね。だって冬に七飯とか函館から毎日通ってたらいやって思うよ。

（何か言う声あり）

○議長（千葉 隆君） そういうところから改善しないと無理だと思う。そして今なおさら時間のきちんとカウントとってるでしょ。それでも結局は時間外やってるんだよね。だからその中で仕事量がどれだけあってどうなのかって話になると、結局一番肝心な子どもと寄り添うとか一人一人と接する時間がどれだけあるかってことに尽きるんだわ。だからそこがないからどうだってことになるから、結局多かっただけ多いほど一人の担任だとか二人の副担任作って多いけれども15人ずつ担当だとか、そういうふうになんか今なってきたけれども、ただ総体的には向き合う時間が少なくなってるって。そしたらそれはどういう要因があるのっていうふうにしていかないと難しいと思う。

○委員（関口正博君） だから世代にもよるだろうけれどもいじめなんてあって当たり前だって考え方って。我々世代ってそうやって思いがちだよ。だから見落とすこともあるだろうし、でも確かに世代がどんどん変わって行ってそこからちゃんと逃げられない子どもが出てくるのも間違いなくて。そういうのはなんか救いようがないのかなって。そういうの全然分からない。世代的に。

○委員（倉地清子君） いじめに関する調査って学校で必ずやってて、そういうのってなんか教えてもらえないんですかね。それとなく。

○委員（大久保建一君） 求めたら報告はもらえるんじゃないの。だから今回のアンケートに絡めてそれ求めてもいいんじゃないの。

○委員（関口正博君） さっきの部活もそうだけれども世代にも繋がってきてるんじゃないの。

○委員（佐藤智子君） 必ず何かに入れてって強制的なものが昔あったからね。

○議長（千葉 隆君） やっぱり町村の教育委員会も逆に言えば道教委から通達を卸す指導的立場の教育委員会の側面と先生を面倒見ないとならないとかって言う側面の二面性持ってる。町村の。住宅壊れたら直しに行かないとないとかそこからはじまって。だからなかなか教育委員会として独自性出せて言ってもね。

○委員（関口正博君） 確かにそれはそうですね。

○議長（千葉 隆君） なかなか教育長の地域の中でさ、結局情報を持ってない教育長さんだったらどんどん悪い教員ばかり集められるから。人事で。皆さん出したいから。いいよって言ってたら知らないうちにこの先生あぁいうことかってなったら大変なんだわその話すのが。

- 委員（関口正博君） 八雲に来た先生たちに金出したらいいんじゃないの。
- 議長（千葉 隆君） 先生たち元々、教員同士結婚したら、そこそこ金持ってるから、だから逆にそうでなくて都会の二人して函館近辺にいたいのか。
- 委員（大久保健一君） 結局その人達も子育てするから。
- 委員（倉地清子君） 八雲中学校って大きいから僻地債というのがないんですね。教員も。僻地手当。だから八雲中学校に来たがらない。どうせ行くならちょっと離れた場所に。
- 委員（関口正博君） 落部はもらえる。
- 議長（千葉 隆君） ただ昔から比べたら女性の教員が多くなってる。
- 委員（大久保健一君） 小学校なら女性のほうが多いんじゃないの。
- 議長（千葉 隆君） だって俺たちの小学校中学校だったら学校で多くて2、3人だったから。それ今半分以上いる学校とかあるよ。女性の。
- 委員（佐藤智子君） このアンケートをもとに教育委員会にもいろいろ質問したり報告していけばいいんじゃないですか。
- 議長（千葉 隆君） ここの中でやっぱりこれをどう読むかという部分で、ちょっと取り組まないといけないことをピックアップして、できるこの部分、みんなで取り上げるっていったらどうやって改善しようかという話をして町長のほうに向けるのか担当に向けるのか地域に返すのかということ、それをある程度まとめたらさっき言った集計した人達に返さないとそれを一番みんなほしいと思うんだよね。アンケートが活かされたというやつ。
- 委員（大久保健一君） どう活かされたの結果報告。
- 議長（千葉 隆君） そうそう。それちょっとだからあまりアンケートの興味ないと思うんだよね。書いてるから。一番大事なのは返すときにはこっちのほうがいいんじゃないかなって。遊具だったら遊具直すようになりましてとか。簡単に言ったらさ。
- 委員（斎藤 實君） ただ通学路の歩道がないというのはやっぱり車を運転する側から見ても非常に大変だなって感じを受けるよね。
- 委員（佐藤智子君） そこは予算も必要だし。
- 委員（斎藤 實君） うん。だからそういうことをきちんと要望の中であるわけだから委員会として行政のほうにどう要望していくのか。
- 議長（千葉 隆君） 子ども現実的に2車線のときに歩道を作るったら、民家買わないといけない。買収。だからできないだけの話で。両脇さ、車幅決まってるから。歩道を作るといったら。
- 委員（斎藤 實君） 片側歩道でも駄目か。
- 議長（千葉 隆君） 片側歩道でも買収しないと。
- 委員（黒島竹満君） 片側歩道でもいいしょ。
- 議長（千葉 隆君） いや、いいけども片側でも買収
(何か言う声あり)
- 議長（千葉 隆君） 高橋組の。ここの裏だもん。
- 委員（佐藤智子君） アンケートの中に通学路とおらないといけないから遠回りになるって書いてある。それはしょうがないよね。
- 委員（倉地清子君） 遠回り多いです。

○委員（大久保健一君） それ安全優先してるからでしょ。

○委員（関口正博君） 通学路に熊が出る時代だからね。

○委員（大久保健一君） 雨の日はみんな迎えに来てる。

（何か言う声あり）

○委員長（赤井睦美君） それでは頑張って提言に繋げていきましょう。今日はありがとうございました。

〔閉会 午前11時15分〕